

子供の生活に関する実態調査について

広島県健康福祉局
こども家庭課

1 趣 旨

次世代を担う子供たちが、生まれ育った環境に左右されることなく、健やかに育ち、夢や希望、意欲にあふれ自立した人間へと成長することができる社会づくりに向けて、子供の貧困対策における効果的な支援のあり方を検討するために、市町と連携して、県全体の子供の生活実態や学習環境等について調査する。

〔根拠〕 子どもの貧困対策の推進に関する法律（平成 26 年 1 月施行）

子供の貧困対策に関する大綱（平成 26 年 8 月閣議決定）

2 調査の概要

(1) 調査のねらい

- 家庭の経済状況と子供の学力との関係性を把握する
- 貧困の状況にある子供や家庭の実態や支援ニーズを把握する
- 自治体で実施している施策の認知度，利用度，利用意向を把握する
- 貧困の世代間連鎖を生む要因を推定し，連鎖を断つ方法を推定する

(2) 調査の内容

調査の種類	対象者	調査項目等	調査時期
①子供と保護者調査 (対象：15市町) ※他の8市町は独自に予算化して調査するが、県調査との「共通調査項目」を設定し、その結果は県に提供されるため、県として県全体の実態把握を行う。	○小学校5年生とその保護者 約3,600世帯 ○中学校2年生とその保護者 約3,400世帯	(保護者向け) ・世帯構成，住居，就労状況，収入，子供にかかる費用や関わり，困ったときの相談相手，最終学歴，子供の家庭状況（世帯構成，経済状況，体験等），支援制度へのつながりなど (子供向け) ・放課後や休日の過ごし方等の生活習慣，子供部屋の有無，学力の状況，学校以外での学習の状況，塾・習い事，将来の夢 など	7月
②支援機関等の支援者調査 (対象：全県域)	○保育士，幼稚園教諭，小・中・高の養護教諭や生徒指導担当教諭，SSW等 約2,900人	・支援した家庭の子供の様子と背景 ・支援の内容と効果 ・支援を行う上での課題と改善策 ・支援の充実に必要と思われるもの ・他機関との連携 などを対象者に調査することにより子供と保護者調査を補完する。	8月
③児童養護施設等の退所者調査 (対象：全県域)	○児童養護施設や里親など社会的養護施設等を退所した人 約100人	・退所に向けた進路決定 ・現在の生活，就労，収入，学校，健康等の状況 ・施設等退所前後の支援のニーズなど	7月